

秋ノ三表

松風の音へをとゝのみならずいしはしる

水にも秋はみえけるものを

天王寺へてんわうじへまいりけるにかた野へのと申わ

たりすぎてみはるかしたる所のあるを

とひければあまの川といふを聞て宿

からんといひける事思ひ出られてよめる

かりくれしあまのかはらと聞からに

むかしの波の袖にかけける

むかし心さしつかうまつりしならひに